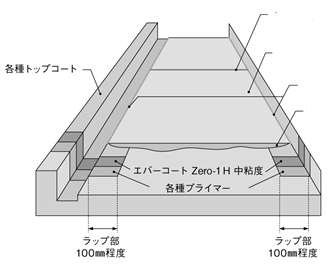
ＺＨＳＨ－１５０工法

【施工要領書】

シーカ・ジャパン株式会社

**施工仕様**

溶接棒



防滑性ビニル床シート各種

端末シール

接着剤

平場：長尺塩ビ防滑シート仕様

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工程 | 使用材料 | 使用量（／㎡） |
| １ | 接着剤 | － |
| ２ | 防滑性ビニル床シート各種 | － |
| ３ | 溶接棒・端末シール処理 | － |

側溝・巾木：ＺＨＳＨ－１５０工法（密着工法　換算膜厚１.５㎜）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工程 | 使用材料 | 使用量（／㎡） |
| １ | 各種プライマー※１ | ※１ |
| ２ | エバーコート Ｚｅｒｏ－１ Ｈ 中粘度 | ２.０㎏※ |
| ４ | 各種トップコート※２ | ※２ |

※１　下地の種類によりプライマーの種類と塗布量が異なります。

※２　使用するトップコートの種類により塗布量が異なります。

・使用するプライマー、トップコートは使用材料一覧から現場に適した材料を選定してください。

・エバーコートＺｅｒｏ－１Ｈは下地の形状に応じて平場用、立上り用、中粘度を選定して使用が可

能です（塗布量は同じ）

**使用材料一覧**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 品名 | 荷姿・入目 | 配合比 | 材質 |
| ＤＳプライマー・エコ | １６㎏／缶 | １成分形 | １成分形ウレタン樹脂  プライマー（弱溶剤系） |
|
|
| 層間プライマーE | １４㎏／缶 | １成分形 | １成分形ウレタン樹脂  プライマー（弱溶剤系） |
|
|
| オープライマー | １６kg／ペール缶 | 主剤：硬化剤 ＝１：１ | ２成分形エポキシ樹脂  プライマー（水系） |
| 主　剤　８kg／袋 |
| 硬化剤　８kg／袋 |
| ＵＳウレタンプライマー | １６㎏／缶 | １成分形 | １成分形ウレタン樹脂プライマー（溶剤系） |
|
|
| プライマーＰＷ－Ｆ | １２kg／セット | 主剤：硬化剤 ＝１：１ | ２成分形エポキシ樹脂樹脂プライマー（溶剤系） |
| 主　剤　６kg／缶 |
| 硬化剤　６kg／缶 |
| 層間プライマーJ | １２kg／セット | 主剤：硬化剤 ＝１：１ | ２成分形ウレタン樹脂プライマー（溶剤系） |
| 主　剤　６kg／缶 |
| 硬化剤　６kg／缶 |
| Ｗ－１ | ２０kg／セット | 主剤：硬化剤 ＝１：１ | HGコート用2成分形エポキシ樹脂プライマー（溶剤系） |
| 主　剤１０kg／缶 |
| 硬化剤１０kg／缶 |
| エバーコート Ｚｅｒｏ－１ Ｈ 中粘度 | １８㎏／缶 | １成分形 | １成分形ウレタン防水材 |
|
|
| エバーコート Ｚｅｒｏ－１ Ｈ | １８㎏／缶 | １成分形 | １成分形ウレタン防水材 |
|
|
| エバーコート  Ｚｅｒｏ－１Ｈ立上り用 | １８㎏／缶 ８㎏／缶 | １成分形 | １成分形ウレタン防水材立上り用 |
|
|

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 品名 | 荷姿・入目 | 配合比 | 材質 |
| ＤＳトップ・ゼロ | １５kg／セット | 主剤：硬化剤 ＝２：３ | ２成分形アクリルウレタン樹脂トップコート  （弱溶剤系） |
| （高反射色有） | 主　剤　６kg／缶 |
| 塗布量0.2㎏/㎡ | 硬化剤　９kg／缶 |
| ＡＳトップ・ゼロ | １５kg／セット | 主剤：硬化剤 ＝２：３ | ２成分形アクリルシリコン樹脂トップコート  （弱溶剤系） |
| （高反射色有） | 主　剤　６kg／缶 |
| 塗布量0.2㎏/㎡ | 硬化剤　９kg／缶 |
| オートップ・ワン | １５㎏／缶 | １成分形 | 1成分形アクリルウレタン系トップコート（水系） |
| （高反射色有） |
| 塗布量0.15㎏/㎡×2回塗り |
| ＳＱトップ・ゼロ | １５kg／セット | 主剤：硬化剤 ＝２：３ | ２成分形アクリルウレタン樹脂トップコート  （弱溶剤系）速乾タイプ |
| （高反射色有） | 主　剤　６kg／缶 |
| 塗布量0.2㎏/㎡ | 硬化剤　９kg／缶 |
| フッ素スーパートップ・ゼロ | １０kg／セット | 主剤：硬化剤 ＝２：３ | ２成分形フッ素樹脂トップコート（弱溶剤系） |
| （高反射色有） | 主　剤　４kg／缶 |
| 塗布量0.2㎏/㎡ | 硬化剤　６kg／缶 |
| ＨＧコート | ２０㎏／缶 | １成分形 | 1成分形無機質調アクリルシリコン樹脂トップコート（水系）  厚塗り高耐久保護仕上げ |
| （高反射色有） |
| 塗布量 平場：0.6㎏/㎡×2回塗り 立上り：0.5㎏/㎡×2回塗り |

**施工の流れ**

|  |  |
| --- | --- |
| 平場面：長尺塩ビ防滑シート仕様 | 側溝・巾木：ＺＨＳＨ－１５０工法 |
|  |  |
| 下地確認・下地清掃 | |
|  |  |
|  | 各種プライマー塗布 |
|  |  |
|  | エバーコート Ｚｅｒｏ－１ Ｈ  中粘度　塗布 |
|  |  |
|  | 各種トップコート塗布 |
|  |  |
| 防滑性ビニル床シート  　割付け、仮敷き |  |
|  |  |
| 接着剤塗布 |  |
|  |  |
| 防滑性ビニル床シート張り  壁際裁断、転圧  シートジョイント処理  シート端末処理 |  |

**施工要領**

**平場**

|  |  |
| --- | --- |
| 工程 | 施工方法 |
| １ | 防滑性ビニル床シート　施工部位の割付け |
| 下地処理確認後、できるだけ継ぎ目部を少なく、端部に短いシートが入らないように割付ける。  端部は、端部処理材の仕上げシロとして、排水溝端部から５㎜以上、壁際は３㎜程度の隙間を空ける。  接着剤を端部まで塗布するため、シート端部の位置を下地に鉛筆等でけがく。 |
| ２ | 防滑性ビニル床シート　仮敷き |
| 防滑性ビニル床シートの張付け基準線に沿って、同方向に仮敷きを行い、巻グセを除去し、シワが生じないように敷き延ばす。  シートの柄合わせを行い、２枚目のシートの継ぎ目は突き付けで隙間を空けずに張る。  継ぎ目はシート表面柄模様の目地部で設ける。 |
| ３ | 接着剤塗布 |
| 防滑性ビニル床シートを短手方向にずれないように半分に折り曲げ、接着剤を接着材塗布工具のクシ目ゴテ等で規定量を均一に塗布する。 |
| ４ | 防滑性ビニル床シート張付け |
| 接着剤の指蝕乾燥（表面に薄く皮張り程度）後、防滑性ビニル床シートにシワを生じないように、中央部からシートを張り込んでいく。張付け後、しごき圧着で空気抜きを十分に行った後、床ローラーで全面を均一に転圧する。 |
| ５ | 防滑性ビニル床シート　壁際裁断、転圧 |
| 防水層を傷付けないようにカッターナイフ等で防滑性ビニル床シートを裁断し、壁際は３㎜程度の隙間を設ける。壁際および継ぎ目部をハンドローラーやコーナーローラーで全面を均一に転圧する。 |
| ６ | 防滑性ビニル床シート　シートジョイント、端末処理 |
| 防滑性ビニル床シートのジョイント部は、溶接工法の場合は溶接棒を使用し、熱風溶接機を用いて処理する。シール工法の場合は各種シーリング材を用いて処理する。  端末処理は、シール工法にて各種シーリング材を用いて行う。 |
| ７ | 養生 |
| 施工終了後、通常１～２日以上養生するが、端末処理部が硬化する２～３日経過後に歩行可能とする。 |

**側溝・巾木**

|  |  |
| --- | --- |
| 工程 | 施工方法 |
| １ | 各種プライマー塗布 |
| 下地処理確認後、良く清掃し、各種プライマーをローラー等の工具で規定量を均一に塗布する。 |
| ２ | エバーコート Ｚｅｒｏ－１ Ｈ 中粘度塗布 |
| エバーコート Ｚｅｒｏ－１ Ｈ 中粘度を、コテ・ゴムベラ等の工具で２．０㎏／㎡を均一に塗布する。 |
| ３ | 各種トップコート塗布 |
| 主剤・硬化剤からなる各種トップコートを規定の配合で混合攪拌し、ローラー・刷毛等の工具で規定量を均一にムラ無く塗布する。 |

改訂：２０２５年１１月

|  |
| --- |
| 免責事項  ここに記載された情報およびその他の助言は、シーカの推奨する通常の条件下で適切に保管、取扱および適用された場合の製品に関するシーカの現在の知識と経験に基づいて誠実に提供されるものです。本情報は、本書で明示的に言及されている用途および製品にのみ適用されます。基材の変更など、用途のパラメータが変更された場合、または別の用途に使用する場合は、シーカ製品を使用する前にシーカの技術サービスにご相談ください。本書に記載されている情報は、製品の使用者が意図された用途や目的に対して製品をテストすることを免除するものではありません。すべての注文は、当社の現行の販売および納品条件に従って受理されます。ユーザーは、常に該当する製品の最新版の製品データシート又は製品カタログを参照する必要があり、そのコピーはリクエストに応じて提供されます。 |